

整理番号 29

実施年度 令和5年度（事業期間 令和5年12月～令和6年3月）

事業名 AIによる路面標示の劣化状況診断

提案者 茨城県（道路維持課）

課題及びねらい

道路区画線等の路面標示は、安全な通行を確保するうえで重要な役割を果たしている。しかし区画線の劣化の情報は、道路パトロールでの目視や道路利用者からの通報などが主となっており、的確に状況把握ができていない。このため、路面状況を撮影した画像からAIにより劣化診断を行い、効率的・効果的な道路管理に向けその有用性を検証する。

期待される効果

- ・ 効果的・効率的な情報収集による道路維持管理の効率化・高度化
- ・ 良好な道路走行環境の維持
- ・ 将来の自動運転への対応

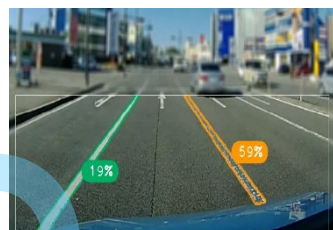
実施概要

- ・ 車載カメラによる路面撮影
- ・ AIによる区画線の劣化状況を診断し分類

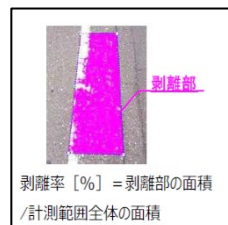
区画線の状況調査



AIによる劣化状況を診断



剥離率算出



地図上での確に状況を把握



適切な管理
効果的な維持補修

良好な道路走行環境の維持

検証結果

- ・ 区画線の劣化状況を概ね適切に判断し分類できることを確認した。
- ・ 低コストで効率的に調査可能であり、かつ視覚的にも劣化状況を把握することができ、効果的な道路管理になり得るものと期待される。